

# 仙台市水防協議会

令和元年6月4日

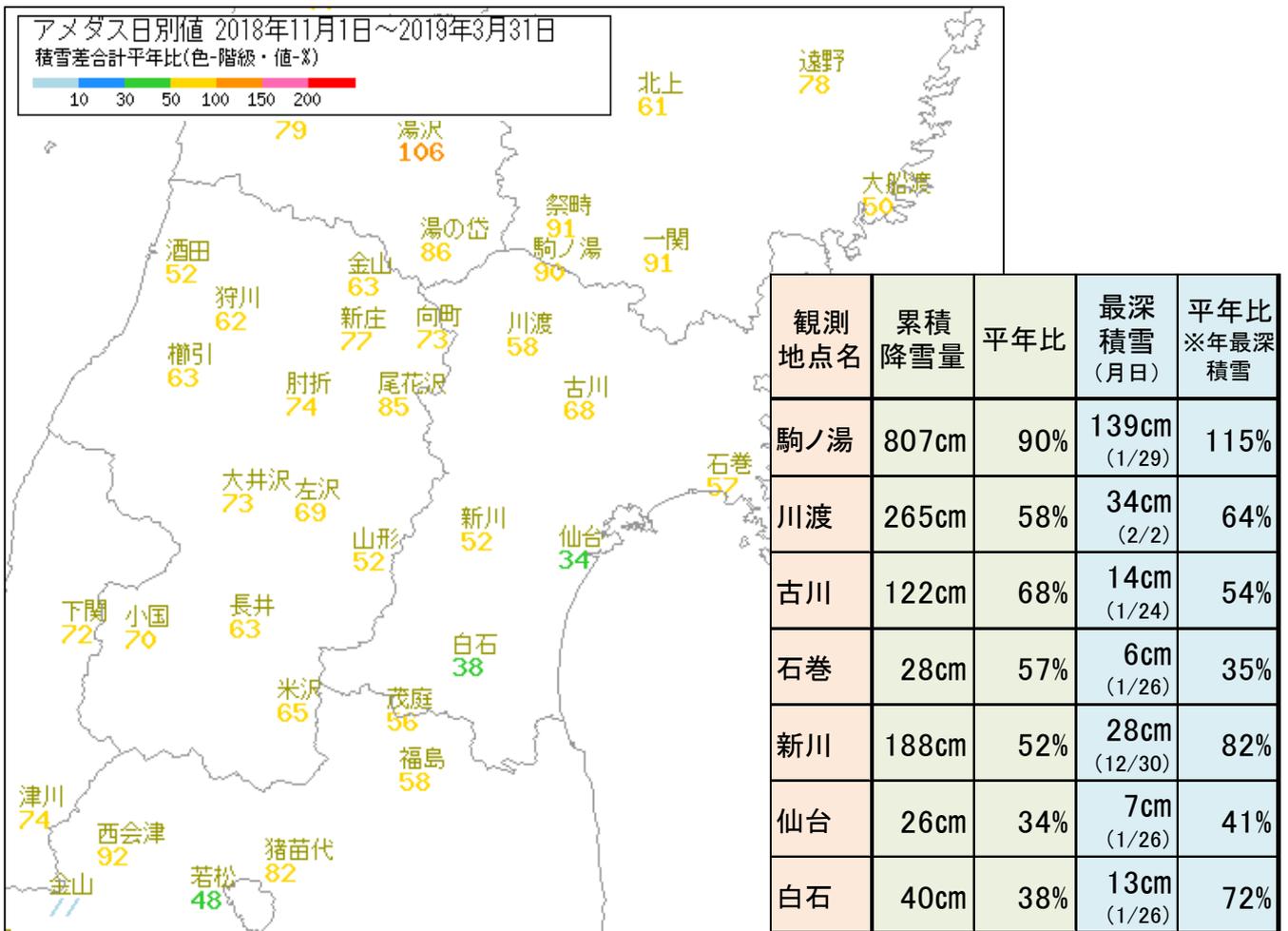
仙台管区气象台  
気象防災部予報課

## 冬の天候のまとめ (2018年11月から2019年3月)

- ・ 東北地方の冬（12月～2月）の平均気温の平年差は、+0.6℃で平年より高い。
- ・ 東北地方の冬の降水量の平年比は、70%で平年よりかなり少ない。
- ・ 東北地方の冬の降雪量の平年比は、52%で平年よりかなり少ない。

### <宮城県>

- ・ 12月は、高気圧に覆われる日があったが冬型の気圧配置となる日が多く、東部を中心に日照時間が多かった。月平均気温は低く、月降水量は平年並みから多かった。
- ・ 1月は、冬型の気圧配置になる日が多く、低気圧や寒気の影響を受けにくかったため、東部を中心に月降水量はかなり少なかった。月平均気温は平年並みだった。
- ・ 2月は、冬型の気圧配置が長続きせず、低気圧や寒気の影響が少なかったため平均気温が高かった。なお、仙台では2002年以来、17年ぶりに2月の月最深積雪が0cm、また2016年以来、3年ぶりに2月の降雪の深さ月合計が0cmとなった。月降水量は少ないから平年並みだった。
- ・ 3月は、上旬から中旬にかけて寒気の影響が弱く暖かい空気に覆われたことから、月平均気温はかなり高かった。降水量は平年並みだった。



2018/11/1～2019/3/31 累積降雪量（積雪差合計）の平年比（%） ※速報値

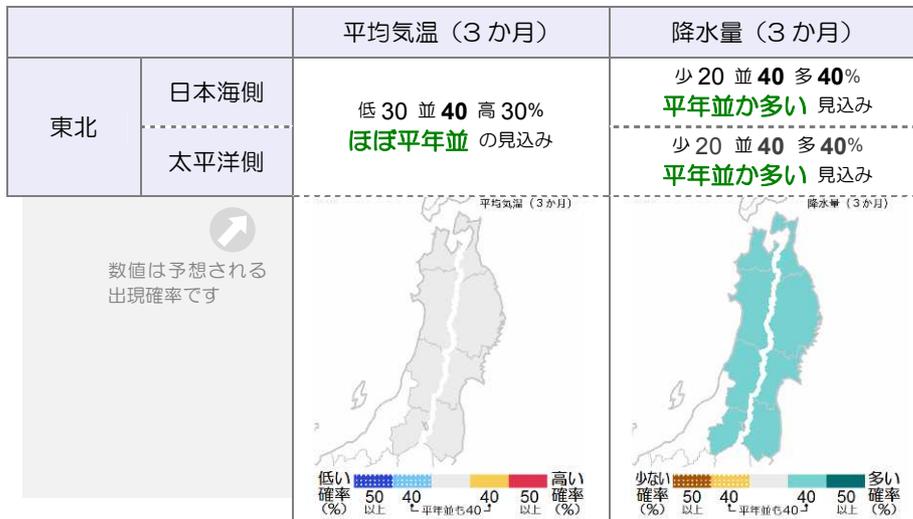
# 向こう3か月の天候の見通し

## 東北地方 6月～8月

### 予報のポイント

- 向こう3か月の降水量は平年並か多いでしょう。太平洋高気圧の本州付近への張り出しが弱い見込みです。7月は、前線や湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。8月は、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。
- 向こう3か月の気温は、ほぼ平年並でしょう。6月は暖かい空気に覆われやすく、気温は平年並か高い見込みです。

### 3か月の平均気温・降水量

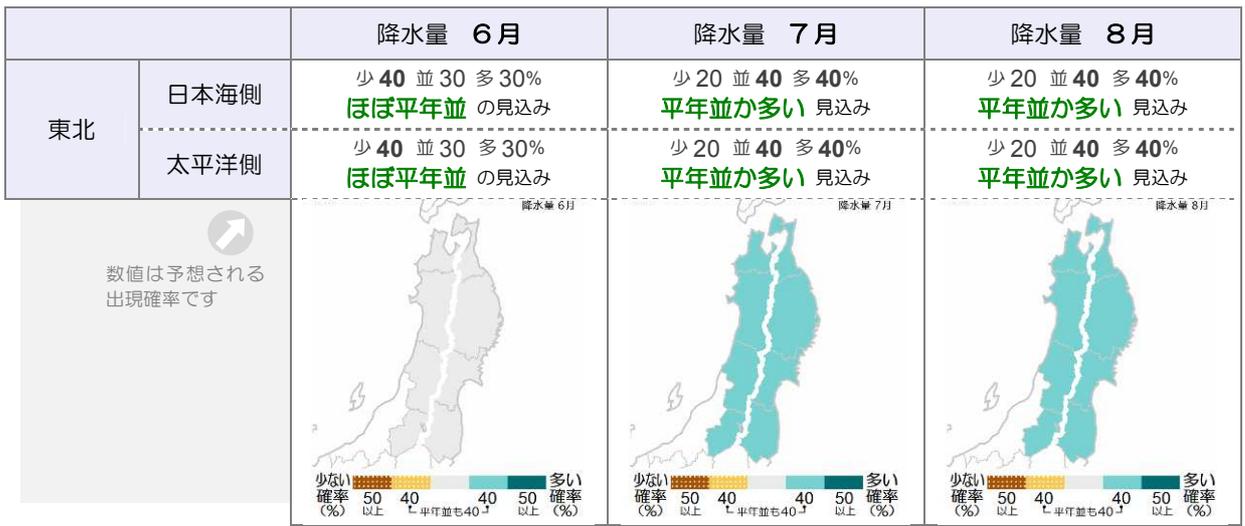
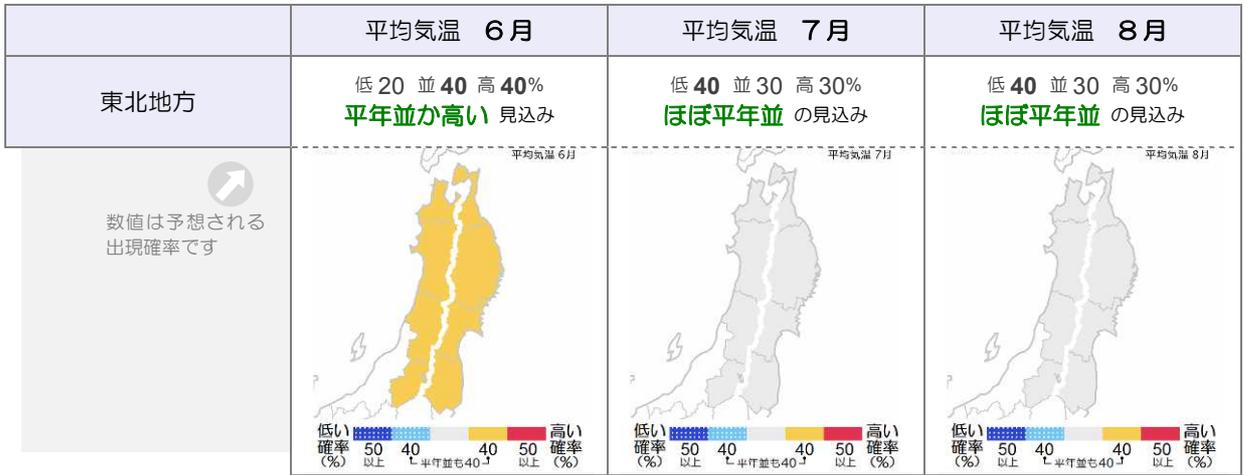


### 月別の天候

6月	7月	8月
<p>期間の前半は、高気圧と低気圧が交互に通る、天気は数日の周期で変わるでしょう。</p> <p>期間の後半は、前線や湿った空気の影響により、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。</p> <p>気温は平年並か高いでしょう。</p>	<p>前線や湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。</p> <p>降水量は平年並か多い見込みです。気温はほぼ平年並でしょう。</p>	<p>湿った空気の影響を受けやすい見込みです。東北日本海側では、平年に比べ晴れの日が少なく、東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。</p> <p>降水量は平年並か多い見込みです。気温はほぼ平年並でしょう。</p>

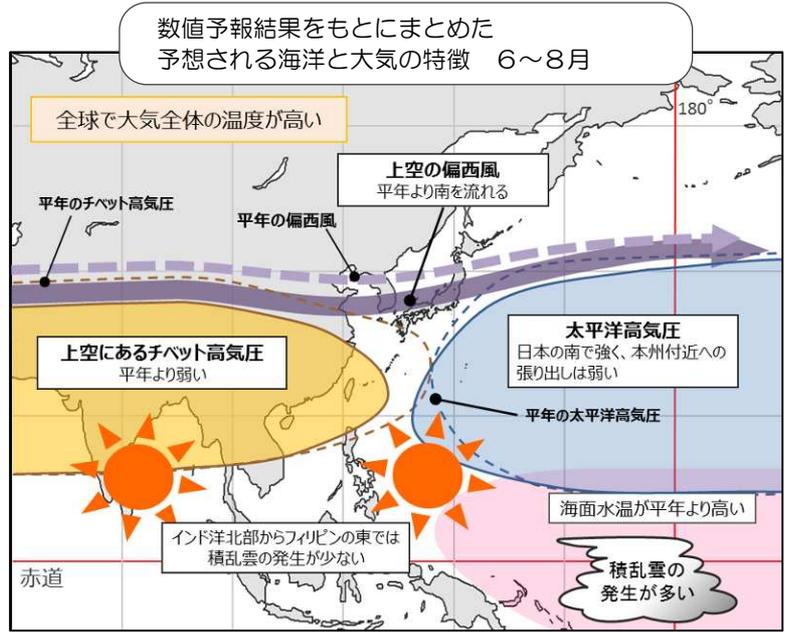
季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。  
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

## 月別の平均気温・降水量



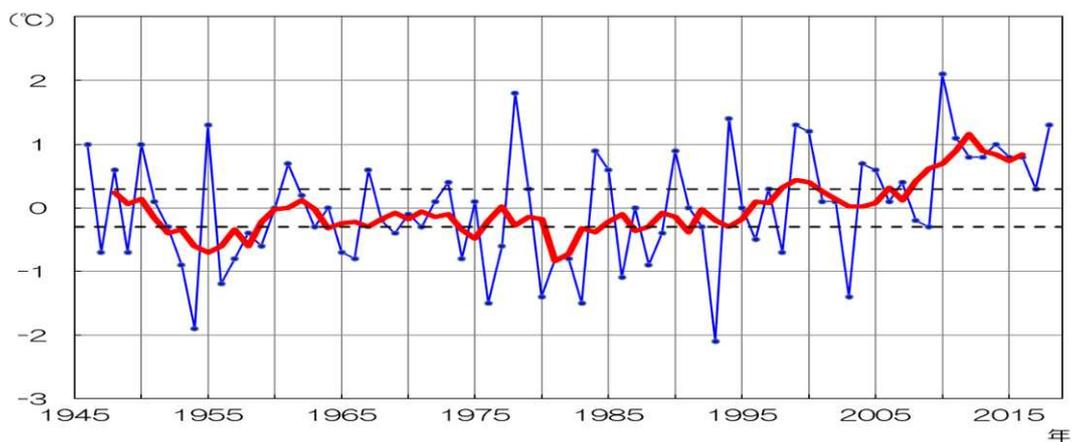
## 予想される海洋と大気の特徴

- 地球温暖化の影響等により、全球で大気全体の温度が高いでしょう。
- エルニーニョ現象が続き、ニューギニアの東～太平洋東部では海面水温が平年より高く、積乱雲の発生が多い見込みです。一方、インド洋北部～フィリピンの東では、積乱雲の発生が少ないでしょう。
- 上空にあるチベット高気圧は弱く、偏西風は大陸から日本付近にかけて平年より南を流れる見込みです。
- 太平洋高気圧は、日本の南で強く、本州付近への張り出しは弱い見込みです。このため、北日本から西日本にかけては、太平洋高気圧の縁を回って湿った空気が流れ込みやすいでしょう。



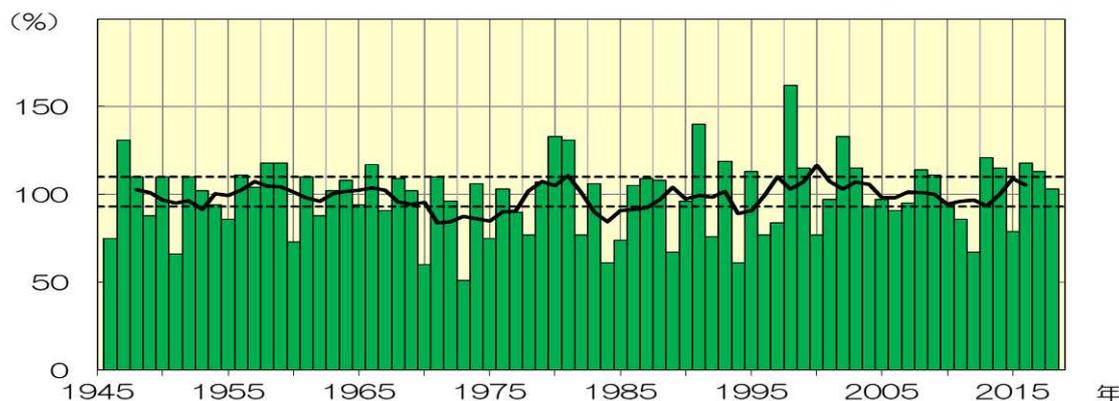
●夏の気温と降水量の経年変化

東北地方の夏の平均気温は、1970年代後半以降、年々の変動が大きくなっていますが、最近10年間は平年より高い年が多く、2018年はかなり高くなりました。東北地方の夏の降水量は、最近10年間は多雨の年が多くなっていますが、2018年は平年並となりました。



東北地方の夏（6～8月）の平均気温平年差の推移

細線は平均気温平年差、太線は5年移動平均値、点線で示した-0.3℃より高く0.3℃以下が平年並の範囲です。平年値は1981～2010年の30年平均値、統計期間は1946～2018年です。



東北地方の夏（6～8月）の降水量平年比の推移

棒は降水量平年比、太線は5年移動平均値、点線で示した93%より多く110%以下が平年並の範囲です。平年値は1981～2010年の30年平均値、統計期間は1946～2018年です。

●東北地方の年間真夏日日数平年値（日）

	青森	秋田	盛岡	仙台	山形	福島
年間真夏日日数	12.5	18.3	19.1	17.9	37.1	42.2

真夏日は日最高気温が30℃以上の日です。

●東北地方の平年の梅雨入り、梅雨明けの時期

地域名	梅雨入り		梅雨明け	
	平年値	平年並の範囲	平年値	平年並の範囲
東南北部	6月12日頃	6月9日頃から6月14日頃	7月25日頃	7月22日頃から7月27日頃
東北北部	6月14日頃	6月11日頃から6月16日頃	7月28日頃	7月23日頃から7月31日頃

梅雨は季節現象であり、梅雨入り、梅雨明けには一般に数日程度の移り変わりの期間があります。梅雨入り、梅雨明けの日付は移り変わりの期間のおおむね中日を用いて、○日頃と表記しています。

●台風発生数、上陸数、本土接近数の平年値

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
発生数	0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.9	4.8	3.6	2.3	1.2	25.6
上陸数					0.0	0.2	0.5	0.9	0.8	0.2	0.0		2.7
本土接近数				0.0	0.1	0.4	1.0	1.7	1.7	0.7	0.0		5.5

台風の本心が本州、北海道、九州、四国のいずれかの気象官署から300km以内に入った場合を「本土に接近した台風」として扱います